



一般社団法人

関東沖縄経営者協会

Kanto Okinawa Management Association

会報
第24号
特大号



発行日 2022年7月21日
(1、4、7、10月発行)

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-9-6 田中ビル別館6階
TEL 03-3525-8944
FAX 03-3525-8948

URL <http://www.kanoki.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/kanoki.jp>

第56回定時総会を振り返って 会長 新垣進



関東沖縄経営者協会第56回の定時総会が無事終了致しました。2020年から世界中を混乱に巻き込んだコロナ禍が続

く中ではありますが最善の対策を心がけ140名の参加者が集う盛会となりましたこと、心より御礼申し上げます。定時総会では、近藤ゆうな理事が司会を務めました。人事の報告では当協会の最重要テーマでもある次世代の育成方針のもと、根間理事、島袋理事、山城理事の若手リーダーを副会長に任命、もう一人、若いリーダーを豊富な経験で支える役割として女性経営者の代表的存在である小泉ケイコ理事も加わえ副会長4名体制となりました。そしてこれまで長きにわたり副会長を務め経営協を支えてこられた豊里理事、大城朝夫理事のお二方は次世代にバトンを渡し勇退されることになりました。

総会の後には、偲ぶ会が開かれました。当協会はもちろん、多方面で多大な功績を残された新里和英さん、仲田清祐さん、矢野弾さんを偲ぶ会です。私、会長の新垣と重田顧問、長嶺為泰さんが順にそれぞれ故人が築かれた功績や思い出等を語りました。いつも当協会に心を寄せ多額の寄付まで寄せて頂いた故新里和英会長(オーム電機)と

の思い出のやりとり。かつて当協会の会長としてけん引された故仲田清祐さんの功績と創立者の故仲本潤瑛さんとの思い出も交えた語り、関東沖縄経営者協会のことを愛し時には厳しくご指導くださった故矢野弾さんとの記憶など。最後には奥様の仲田美智子さんと矢野三智子さんに壇上よりお礼のスピーチを頂きましたが目頭が熱くなりました。

生前の功績は言うまでもありませんが、その人生は誰もが憧れる素晴らしい人生だったに違いありません。偲ぶ会に続く懇親会では、若手リーダーも大活躍の活気あふれる楽しいものでした。司会の玉城久美子委員の進行で沢山の石垣牛をご提供くださった焼肉金城の金城利憲さんの乾杯で始まりました。また、わざわざ沖縄から駆けつけて頂いた琉球新報の普久原均社長、琉球通運の新垣直人社長、ぬちまーすの高安正勝社長からも温かい応援スピーチも頂き深く感謝いたします。

懇親会の終盤には沖縄三線教室を主宰するクイチャーパラダイスの仲本光正さんの演奏する三線に合わせ会場の多くの人が踊りだし、その光景に沖縄パワリーの底力を垣間見た気がします。今回、コロナを考慮し従来のビュッフェ形式を改め、席を指定するテーブル形式としましたがお席の配置は、ご

来賓・ご出席者全員が有意義で楽しい時間を過ごして頂くために、若手理事たちと一緒に一人一人のお席を何度も練り直し決めたものです。ちなみに私と同じテーブルには仲田美智子さん、矢野三智子さんや偲ぶ会、故人の方と親交の深い方々にお座りいただきました。従来ですと、この席にはご来賓の方をお招きするところですが、故人を偲ぶ意味からあえてこのようにさせて頂きました。

関東沖縄経営者協会の56年の歴史の中で私の叔父の2人が副会長を務めたこともあり、今から40年前、20代の私も目黒雅叙園で開かれた当時の総会に参加しています。それから連続と受け継がれ今日の経営協があります。それぞれ、各時代の方々がきちんとバトンをつないでくださったからこそ今があるのです。そしてこれからの未来は、今回退任される重鎮の方々や、今日までバトンをつないでくれた先代の方々の意志のもとにあることを心に刻み、この先の歩みを大事にしていきたいと強く思っています。

これまで経営協では、看板事業として経営セミナーや異業種交流会などを開催してきました。しかし残念ながらこの2年間はコロナ禍の中にあり人が集うこれらのイベントを控えざるを得ませんでした。しかしこれからはWithコロナの時代、徹底した対策のもと、今期からは積極的に再開していこうと考えております。そして今季のもう一つの目玉は経営サポートです。経営サポート委員会を

立ち上げ、会員の会社経営をしっかりとサポートするといふものです。経営を続ける中で様々なトラブルがありますがそれに迅速に対応し会員のリスク回避・除去に貢献しようと言うものです。新垣弁護士を中心に田場弁護士、三宅弁護士を主メンバーとし、それを補助する役割を金城税理士、湯瀬社労士、本原行政書士、山川行政書士が担うというものです。

3つめの目玉は会員企業のPR強化です。懇親会では、非常に短い持ち時間でしたが、会員企業の代表が、代わる代わる壇上に上がり自社の事業をアピールして頂きました。皆情熱的で歓談中の方々も会話を止め、聞き入るほど訴求力の高いものでした。

今回の総会・懇親会は大変好評だったと耳にしましたが、経営協の熱気に触れたこと、特に日頃聞けない方々のお話しに感銘したこと。今後の魅力的な方針。それだけでなく懇親会の食事にも満足された方も少なくなかったのではないのでしょうか。会場の喜山倶楽部の方々や、焼肉金城の金城社長が差し入れてくれた15キロもの美味な石垣牛に触れずにはいられません。この大盛況の証と言えるのかはわかりませんが今回の懇親会の中で10名(正会員・5社 賛助会員・2社 準会員3名)の方が新規に入会されました。この勢いで今期は新会員50社を目指しましょう。

今回の総会・懇親会はその準備の段階から重鎮の経験と若手のアイデアが折り重なった作品であったと思います。開催当日まで何度も意見を交わし練り直しそのうちに融合して開催にこぎつけた事実が、今後の大きな力になると思えてなりません。

今期に関東沖縄経営者協会にちむどんどんしながら期待し、そして参加してください。よろしくお願ひします。



仲田美智子様



矢野三智子様



遺影



重田顧問



WUB 東京名誉会長 長嶺為泰氏



一般社団法人 関東沖縄経営者協会
56回 定時総会・追悼会・懇親会

【総会】



株式会社ぬちまーす
代表取締役
高安正勝氏



関東沖縄IT協議会
副会長
大城宜智氏



沖縄タイムス
東京支社長
平良哲支氏



琉球新報
東京支社長
謝花稔氏



琉球通運
代表取締役会長
新垣直人氏



琉球新報社
代表取締役
普久原均氏



沖縄県東京事務所
所長
平田正志氏



仲松 健雄
名誉会長



新垣 進 会長

【懇親会】



来賓と会員・役員の記念撮影



小泉副会長と新垣会長



乾杯



カチャーシー

回想録

理事 比嘉 孝



今から17年前、家内とニュージーランドに旅行に行きました。

飛行機から降りたらすぐ国立公園であり世界遺産でもあるマウントクック

(3,724m)がそびえ立っていました。現地では「雲を突き抜ける山」とも言われ、現地語でアオラキとも言います。壮大で、とっても美しい山でした。いつも雲が掛かっています。上まで見れるのは一年で数少ないそうです。私達は2、3日見れましたので運が良かったです。私達と家内は山の頂の近くまで行きたくなりソリ付きのプロペラ機をチャーターしました。驚嘆の声が出るくらいそれは美しい雪景色を見て感激しました。平らな場所にソリで着陸した時には少し怖かったけど素晴らしい景色に圧倒され感激の連続でした。氷河フィヨルドランド国立公園も絶景でした。

さて、クライストチャーチの街並みが素敵でしたね！各家庭の庭がオープンガーデンになっており、塀も門もなく花や木が一杯の花壇で誰でも庭に入れ楽しめる様になっていて町でガーデンコンテストもあり各家庭が競い合うように綺麗な庭ばかりでした。

私にはニュージーランド旅行は夢に見るぐ

らい良い思い出になっています。

それから12年前ぐらいに賃貸アパートを壊し、小さなオープンガーデンを作りました。クライストチャーチのオープンガーデンとは比べ物にならないほど小さいですが、やっとな夢が叶ったという感じで、現在も庭造りを楽しんでいきます。塀も門もないので皆さんから「盗難大丈夫？」と言われましたがお金もないしセコムに入ってるから大丈夫と言いました。去年近所の方から「川崎市もオープンガーデンなんと初めての応募で大賞を戴きました。

福田川崎市長から記念品と賞状を家内と戴き嬉しかったですね！

そこで、私が関東沖縄経営者協会の会員に言いたいのは経営者は感性が大事だと思えます。綺麗な景色や花を見た時には感激する感性を持ち合わせていたら社員の気持ちも分かりそして優しくでき、お客さんにも感謝の気持ちで接する事が出来る。この感性が企業の成長に繋がると思えます。

私の顔を見たらとても感性があると思えないですが？人格は顔ではないですね(笑)失礼しました。



川崎市長より賞状の授与



受賞したオープンガーデン



ニュージーランドにて



氷河フィヨルドランド国立公園



クライストチャーチの街並

私は町の何でも屋

準会員 赤嶺 奈津子



オペラ界の赤嶺奈津子



舞踊界の赤嶺奈津子

「私は町の何でも屋」という有名なオペラのアリアがある。6才より琉球舞踊を始め、現在は実演家として活動している。上京の理由は音楽大学への進学であった。大学院までオペラを研究し、ヨーロッパの劇場でオーケストラと共演したのは24歳の頃であった。当時は演出家から動きが不自然だと指摘され、頭を悩ませた。幼少から培ってきた琉舞の低い重心と、オペラに必要な西洋的な仕草が違和感を生み出していた。学生が終わり実演家として活動することになると、踊りと歌、どちらを選択するのかとよく尋ねられた。オペラ界では舞踊家の赤嶺と言われ、舞踊界では歌手になったと言われたが、どちらを選ぶことなく両方やりたいと思いつき、居場所探しで細々と活動していた。

しかし、新型コロナウイルスでまた自分の生き方を考える機会が訪れた。予定していた海外公演や舞台の仕事はすべて中止となり、借りていた稽古場も閉鎖された。本番も練習もできない実演家は存在価値を失ったのである。ひとしきり落ち込んだが、考えを巡らせていると

妄想が膨らみ行動に移すことにした。「専用のスタジオを作ればいい！」物件探しに奔走したが、歌や舞踊に必要な条件を満たす物件はなかなか見つからず苦戦した。運よく現在の物件と出会い契約したが、今度は家賃である。港区で23坪、条件は満たすが広い分、家賃がオーバーだった。そこで、スタジオの一角でエステサロンを営むことにした。仕事がないこのチャンスにスクールへ通い、経営者協会を通じて知り合った全体の池村さんに相談し美容と健康のメニューを考案。私の肩書にエステティシャンまで加わってしまった。サロン経営はまだ発展途中であるが踊りの生徒は続々と増え、ステージの仕事も戻ってきて、沖縄を題材としたオペラの振付師の仕事が舞い込み、そこへエステの顧客が舞台を見に来てくれる。点と点が繋がった。時代はコロナ前と大きく変わり、複業が認められ一人が何役やってもいい現代。やっと居心地のいい場所が見つかった。私は町の何でも屋として生きる。

NATSUKO
725の会 vol.7

Soprano 赤嶺 奈津子
Soprano 山本 夏子
Piano 藤井 麻理

日時 2022年7月25日 Monday
PM7:00開場 PM7:25開演

会場 高輪プリンスホテル アニマルAMBIENTE

全席自由 / ¥4,000

お問い合わせ Salon725
TEL / 050-3803-7215
MAIL / 725info@gmail.com



妹真希と赤嶺姉妹で活動



港区芝 Salon725



踊りと声楽のステージ



沖繩情報発信の 「総合メディア企業」充実へ

会員 近藤 好沖(新星出版株式会社)



関東沖繩経営者協会の会員の皆さまには東京勤務中、大変懇意にしていたいただき、お世話になり誠に感謝を申し上げます。実践経営セミナー、講演会をはじめとする経営力を培う有意義な活動のほか、カオケ大会やゴルフといった会員相互の交流を温める機会を数々いただき、忘れられない多くの人たちとの触れ合い、多様な思い出づくりができましたことは、私にとって大きな財産です。

5年ぶりの沖繩での暮らしとなります。併せて37年在職しました琉球新報を離れ、新星出版株式会社へ転職を致しました。新星出版は、平成14(2002)年11月に創立し、今年で20年を迎えます。書籍の出版や印刷物の企画・制作を主として、広告代理店業務、ノベルティやオリジナルグッズの制作、イベント運営と沖繩の情報を発信する「総合メディア企業」として、多岐にわたる業務に携わっています。特に印刷部門では、大型ポスターやカレンダー、チラシ、カタログ、名刺、パッケージ、ラベル、チケットなど種々の商品を扱っております。また、琉球新報社の書籍をはじめ、社史、記念誌、自分史、学校新聞などを受注しています。64年(1958)年4月

1日創刊)の伝統と歴史のある「月刊オキナワグラフ」や琉球新報の副読誌「週刊レキオ」の編集、制作に関わっています。

出版業界は、大きな転換点を迎えています。紙ベースでの出版は今後も続くことでしょうが、紙とインターネットを組み合わせるデジタル媒体と融合した「クロスメディア」への展開がトレンドです。

今年には沖繩の施政権が日本に復帰し50年の節目。国民の多くの視線が沖繩に注がれています。しかし、このような出来事は、時が流れると忘れられがちです。次の半世紀、100年に向けて沖繩がどのような地域になっていくのか。変わる沖繩、そして変わらない沖繩があります。新たなスタートとなる51年目は県民にとってさらに重要な節目です。沖繩が日本を牽引する時代が到来します。

時代に寄り添う企業として、皆様とさらなる交流を深めさせていただき、「信頼」「品質」「創造」を社是とし、社会に貢献する沖繩企業を目指します。

理事会報告

【重要】新型感染症ウイルス対策の指針と対応の基本方針を継続

第11回 理事会

6月9日(水) 17時

※オンライン会議 (ZOOM) 併用
KOMA事務局

・臨時理事会開催決定 6月15日(水) 17時

・来期役員・委員の決定

・会員増強委員会：入会案内パンフレット作製
・第3回 食べて応援！ KOMA料理店で懇親会 6月20日(月) 18時

・店舗・うーみや八重洲

・沖繩の子供の貧困問題解決活動の具体案を検討

臨時理事会

6月15日(水) 17時

※オンライン会議 (ZOOM) 併用
KOMA事務局

第56回定時総会・追悼会・懇親会開催の件

第56期 第1回理事会

7月7日(木) 18時10分

第56回定時総会開催後、役員改選の承認を受けて理事捺印

▲ラジオ番組組Vの出演者更新

★6月21日 松崎幸信(リズネット代表取締役)

▲オキナワグラフ掲載者の更新

★5月号 金城敦(金城会計事務所所長)

★6月号 近藤ゆうな(ちゅらゆーな株式会社社長)

★7月号(予定) 仲里綾香会員

▲追悼V故・矢野弾先生のインタビュー
動画特別公開

ゆいまゝる広場 1

沖繩は第二の故郷

代表取締役

賛助会員 板倉 俊輔



中華料理店を営んでいる両親の下、静岡県富士市で生まれ育ち、大学進学と同時に上京して早いものでもう20年以上が経ちました。

コロナ禍で趣味の旅行に頻繁に行けなくなった代わりにジョギング中毒になりました。気が付いたら月間200キロ以上走り、貴重な膝軟骨をすり減らしている毎日です。私の会社は大きく分けて、「美容」「イベント」「インバウンド」の3事業を営んでいます。

まず、美容事業に関しては、美容専門学生向けの全国最大規模のオンラインヘアメイクコンテスト「全国美容専門学生ヘアメイク総選挙」及び、感度の高い美容専門学生のためのWEBメディア「STYLE LAB」の運営をしております。

次に、イベント関連事業に関しては、これまでにない全く新しい新感覚アイドルフェス「IDOL NEXT STAGE」及び、沖縄の音楽・食・芸能が一堂に会する「OKINAWA

まつり」の運営をしております。

最後に、インバウンド関連事業に関しては、台湾・香港人向けの日本情報発信WEBサイト「好日本」の運営、台湾及び香港からの訪日観光客向けの各種プロモーションの実施をしております。

沖縄との繋がりで申し上げますと、前述の「OKINAWAまつり」を2012年から東京都の代々木公園にて毎年開催させていただいております。

また、コロナ禍により2年連続で延期しておりますが、沖縄県豊見城市にある美らSUNビーチにて、年末に年越しの野外カウントダウンイベントの開催を計画しております。現在鋭意準備中です。

「OKINAWAまつり」は過去8回開催させていただいておりますが、開催する度に沖縄が持つ有形無形の観光資源の豊富さに驚かされる次第です。

余談ですが、私の妻が偶然にも沖縄出身ということもあり、沖縄は第二の故郷であるというふうに思っております。

コロナ禍により弊社のイベントとインバウンド事業がほぼストップしてしまいました。しかしながら、その空いた時間で家族と濃密な時間を過ごすことができているのは、怪我の功名かもしれませぬ。

改めて振り返ると、まさに人に恵まれ、人に助けられてきた人生でした。まるで何かに導かれるように、人生の節目で素晴らしい人との出会いがあり、自分の能力を引き出す手助けをしていただきました。歳を重ねても本気で叱ってくれる先輩や友人の存在が、自分の誇りであり財産です。

これまでの与えられることの方が多く人生でしたが、今後は少しでも与えることができるように、「ゆっくり急げ」の精神で周囲への感謝を忘れず、更なる自己研鑽を積んでいきたいと思っております。

また、微力ではございますが、弊社の事業を通じて沖縄の発展に少しでも寄与できれば幸いです。

ゆいまゝる広場 2

東京から沖縄を盛り上げる 東京と沖縄の懸け橋と

会員 平良 英之

皆さま、はじめまして。

令和4年1月から入会させていただきます。また、合同会社東京都沖縄区の平良英之と申します。

沖縄県宮古島市(旧平良市)出身で今年上京19年目を迎えます。





当社は、企業の広報代行（オウンドメディア運用、SNSマーケティングなど）、美容室・飲食店等の多店舗展開支援、節税支援、選択制確定拠出年金の導入支援や従業員向けのFP相談などの福利厚生支援を行っております。そのノウハウを活用し、ライフワークとして沖縄出身者の東京進出支援もしています。具体的には、上京者の住まい探しやお金の悩み相談（資産運用、住宅ローン相談、保険相談など）、お仕事探し支援や交流イベントの開催等を行っています。

今年の7月で設立10期目を迎えます。弊社では、関東在住ウチナチュウ向けに、東京にある沖縄情報（沖縄居酒屋、イベント、沖縄に関係する企業の求人情報など）を発信するWebサイト「TOKYOうちなーネット」を運営しており、こちらで皆さまの情報発信のお手伝いをさせていただきます。

ゆいまゝる広場 3

はいさーい！

沖縄の「食」を伝える専門家

準会員 宮澤かおる（沖縄料理研究家）



沖縄料理研究家の宮澤かおるです。関東と沖縄を拠点に、沖縄伝統島野菜や琉球・沖縄料理、沖縄の食文化を次世代に伝える「ぬちぐすい」をモットーに活動しております。

琉球王国時代の歴史や料理に魅了され、独自で学んでいた時、先人の知恵やチグスイ・クスイムンなど沖縄の食文化や島野菜を、沖縄県内の方でも忘れかけていることを知り、「沖縄の食文化を次世代に伝える活動がしたい」と思い転職。基礎はゴーヤーカーテンを世に広めた沖縄料理研究家 高山厚子先生の元で学び、2019年独立、2022年個人事業主として新たにスタートしました。

趣味はダイビングや沖縄エイサー（琉球創作太鼓零）です。趣味のダイビングを生かし、沖縄の魚介類も配信できたらと、昨年から実際に海に潜りながら、沖縄の魚を撮影。今後YouTubeで配信予

定です。琉球料理のクブシメは3月が旬で、高級イカですが、優雅に泳ぐ姿は、一度見たら忘れられない美しさです。このように、沖縄の食を新たな視点から配信中。また、管理栄養士の経験を生かし、身体にいい食情報・薬になるような食「クスイムン」を取り入れ、沖縄の食の魅力をお伝えしております。

どうぞよろしく
お願い致します。



活動実績

- ・久米仙酒造 コラム・レシピ掲載
- ・EM暮らしの発酵ライフスタイルリゾート 発酵栄養アドバイザー
- ・食のレシピサイト「食ZENラボ」
沖縄島野菜レシピ・コラム
- ・メディア出演 琉球放送Aランチ
- ・沖縄ライカム ゴーヤーイベントにて
ゲスト出演
- ・沖縄食材や沖縄の企業さまレシピ開発
- ・沖縄料理・琉球料理・沖縄食材等の
PR

ゆいまゝる広場 4

より多様性のある社会を 実現し、日本の労働力人口 を2倍にする！

株式会社 Next Action 代表取締役
株式会社 GM-NEXT 代表取締役
グロービス MBA 経営大学院
パートナーファカルティ
「会社を辞めない起業」著者

賛助会員 松田 充弘



皆さん、こんにちは。初めまして。
賛助会員の松田 充弘と申します。

私は、世界一の超高齢化社会という日本において、自らの志事を通じて「より多様性のある社会を実現し、日本の労働力人口を2倍にする」というビジョンを掲げております。

そのために、いくつかの事業に取り組んでおります。

まず、2014年に創業しました株式会社 Next Action。こちらは、ダイバーシティ型(多様性のある人材を活用)のビジネスモデルの構築支援を行っております。

具体的には、家庭と両立をしながら

働く主婦(夫)や、シニアの方々、学生、海外人材、障がいのある方々、そしてパラレルワーカー、ポートフォリオワーカーと言われるような複数の仕事を持つ人材をいかに活かして、既存事業を現代に即した形でリモデルするか、またはそのような人材を活用した新規事業を立ち上げることという支援を行っております。

こちらは、企業に対しても行っておりますし、個人に対しても行っております。

特に個人向けにおいては、企業に属しながら新規事業の立ち上げや、起業を行うためのコンサルテーションやコーチングを行っており、1月28日に書籍の出版も致しました。

そして、2019年に創業しました株式会社 GM-NEXT。こちらは、美容師の独立起業支援事業を行っており、直営でもジェンダーレス目元美容サロンを自由が丘、二子玉川、錦糸町、亀戸に5店舗展開しております。コロナ禍を境にマスク装着が日常となった現代において、目元美容は性別問わずニーズが非常に高まってきております。

また自社の事業以外においても、アジア最大の MBA 経営大学院のグロービスにて、パートナーファカルティ(客員准教授)として、リーダーシップのクラスを担当し、パナソニ

ック、ブリストル・マイヤーズスクイブ、楽天、ソニー銀行等上場企業や外資系企業の管理職向けリーダーシップ研修を年間平均112クラス(延べ受講者数2,800人)に、オンラインとオフラインを駆使しながら実施しております。

沖繩に関しては、私が生まれた翌年に返還されたということもあり、幼い頃から歴史を含めとても関心を持っております。

ぜひ、今後沖繩にも拠点を置き、沖繩経済と沖繩の方々の生活の更なる発展にも貢献したいと考えております。



ゆいまゝる広場 次号掲載予定
● 新城秀人会員 ● 亀島淳一会員

重田顧問の「私の履歴書」は
次号へ掲載予定です。

一般社団法人関東沖繩経営者協会会報

発行日 2022年7月21日発行 通巻第24号特大号
発行 一般社団法人関東沖繩経営者協会
発行人 新垣 進

デザイン・印刷 (株)ドルフィンズ
編集 広報委員長 根間 柁至

広報委員会 委員長：根間柁至 副委員長：山城真志
委員：豊島律子、新垣進、近藤ゆうな、新垣卓也、金城敦、島袋健一、三宅千晶、池村昌彦、山川夏子
住所 〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-9-6 田中ビル別館6階 TEL:03-3525-8944 FAX:03-3525-8948
E-mail info@kanoki.jp URL www://kanoki.jp Facebook https://www.facebook.com/kanoki.jp

新規会員を募集しております。ご希望の方、ご連絡をお待ちしております！

